

プラザニュース

つづきMYプラザ（都筑多文化・青少年交流プラザ）
〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-25-1 ノースポート・モール5階
TEL：045-914-7171 FAX：045-914-7172
E-mail：my-plaza@tsuzuki-koryu.org URL：https://tsuzuki-myplaza.net/newhome/

第167号

人生って、人と人との出会い・・・

俳優の高倉健さんはこう言いました。「一生の間にどんな人と出会えるかで、人生は決まるんじゃないですか」と。蔓延防止等重点措置の延期に伴い、“第14回プラザまつり”は、急ぎょオンライン形式で実施することになりました。このような状況にも関わらず、日本、ブラジル、コスタリカ、台湾、ベトナム、インドから、中高生から社会人まで延べ139名が参加し、互いの違いを尊重し、発見と驚きを味わいながら交流を楽しみました。

“オンラインでつながろう”

オンラインでつながろう！「ブラジル」



ブラジルから17才、18才の青少年5名と日本から17名が参加しました。

- ・ラファエル(17才): アニメから聞く日本語ではなく、生の声を聞いて嬉しかったです！
- ・エンソ(17才): 人生で初めて日本人から日本のことを聞いて重要な経験ができた！
- ・パンデミックの中での大学、仕事や暮らしについてお互いに情報交換をした。
- ・ブラジルって、日本からどのように見えている？日本って、ブラジルからどのように見えている？

オンラインでつながろう！「コスタリカ」



コスタリカから17才～62才の14名と日本から15名が参加しました。

- ・コスタリカは寿命がとても長く、所得もとても高いという情報がありますが、普段の生活や暮らしはどのようなものなのか教えてください。コスタリカの有名な食べ物ってなんですか？
- ・日本の若い子はどんな食べ物が一番好きですか？日本ではどんなスポーツが一番人気ですか？

オンラインでつながろう！「やさしいにほんご」



インドから1名、ベトナムから1名、日本から16名(4名は外国人)が参加しました。

- ・外国の方からは、日本語は難しいです。漢字が難しい。漢字の読み方が難しいです、ひらがながあればわかります。日本語には、似ている言葉が多いです。会話が難しいです。テキストと話し言葉は違います。
- ・日本の文化や暮らしで驚いたこと、日本に住んでみて良かったと感じたことなど、外国人の目線で日本はどのように見えているのか、日本人は驚きながら話を聞いていました。

オンラインでつながろう！「台湾」



台湾から4名、日本から13名(2名は外国人)が参加しました。

- ・日本人と台湾人が互いに食べ物や観光地、お祭りなどについて情報交換をしました。
- ・ランタンフェスティバルはブラジルでは禁止されたが、台湾では火事になることはないため、正月を過ぎると各地で開催され、多くの観光客が願いを込めて飛ばしています。

※「プラザまつりプロジェクト」は、海外から支えてくれた Kaori さん(ブラジル)、Cristina さん(コスタリカ)、李さん(台湾)をはじめ、たくさんの方々のご協力により実現できたイベントです。心から感謝申し上げます。

“MY プラザ図書館” << 生きた本との出会い >>

今年で2回目となる”MY プラザ図書館”では、宗教・障害・ルーツ・文化などの違いを体験し、乗り越えて来られた5名の方(“本”役)と聞き手(“読者”役)の間で驚きと感動を交えながら会話を楽しみました。それらの会話の中で話されたいくつかのことを以下に紹介します。

Yes, Deaf Can!

(廣瀬 芽里さん)

- ・ろうの方を知ること、助け合いにつながっていければと思います。
- ・オンラインでろうの方と手話を通してコミュニケーションをとれる時間は素晴らしい時間でした。
- ・廣瀬さん：聞こえる方とふれあう貴重な機会がありました。

日本でムスリムとして生きる

(富岡 貴子さん)

- ・印象と違う部分が多く、びっくりしました。
- ・日本は無信仰の人が多く珍しい国です。サウジアラビアなどでは、無信仰となると信用できないという部分があります。
- ・富岡さん：ムスリムについてお伝えできてうれしかったです。

沖縄ヘルツを探る旅

(沼尾 実さん)

- ・学習用語の習得方法について色々聞いて嬉しかったです。
- ・沼尾さん：どうして南米から仕事を求めて来日したのか、沖縄とどうつながっているのか、日本にいる外国につながる子どもたちの情報を伝えることができ、良かったです。

日本に住む外国人の生活

(ジョン ウェン トウエンさん)

- ・国によって人間性も違うことに気づきました。思っていることをはっきり言う習慣のある国では、日本の「空気を読む」ということはあまり使わないようです。
- ・トウエンさん：皆さんと話して勉強になりました。

変化の時代を生きていく子どものために私は何をすべきか

(上町 透さん)

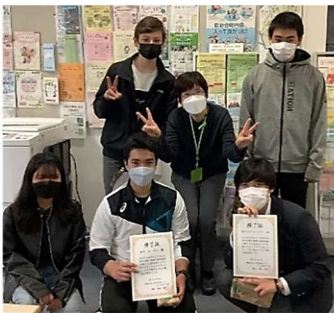
- ・国や地域、おとなや子どもに分け隔てなく、相手に興味を持って相手を知ることが仲良くなる秘訣だと教えていただきました。
- ・上町さん：リモートの難しさを感じました。対面で他の本になった方ともお話しをしたかったです。

KANJIクラブ 中学3年生9名 感謝とよろこびに包まれて 卒業

3月19日(土)、外国につながる子どもの学習支援教室「KANJIクラブ」で中3生の卒業式を行いました。一人一人が自分に向き合い、課題を乗り越えて志望校に合格できたことは、本人たちはもちろん、これまで支えてきた学習支援ボランティアにとっても、大きな喜びでした。また、高校受験を乗り越えた卒業生の姿は、来年受験を控えている子どもたちにとっては、勇気ももらい、あこがれとなるような姿でした。

- 🌸 ボランティアさんのおかげで卒業することができました。
- 🌸 9年間ありがとうございました。
- 🌸 ここに通ってよかった。
- 🌸 いつも明るい雰囲気、精神的にも支えてもらった。

卒業生より



みんな、よく頑張ったね！おめでとう！



館長から、はなむけの言葉とともに修了証と記念品が授与されました。



学習支援ボランティアより

- 😊 チャレンジする姿勢を忘れずに頑張って！
- 😊 困ったことがあったら、またKANJIクラブに顔を出してね。
- 😊 日本以外の国にもつながりがあることは強みになります。自信をもって高校に通ってね！

KANJIクラブ ボランティア研修会

講師：林田育美(つづきMYプラザ館長)



3月26日、オンラインにより『外国につながる子どもたちが立ち向かう壁～ボランティアの存在が力にかわる～』をテーマに研修会を開催しました。外国につながる子どもが具体的にどういった壁にぶつかるのか、また、子どもたちにとって、その壁を乗り越えるエネルギーになるのは、自分や家族を支えてくれる人がいるという安心感であることを学び、学習支援ボランティアの重要な役割りを再確認できた意義のある研修会でした。

参加者の感想

- 学習支援の基本的な課題や考え方の整理ができてよかった。
- まずはボランティアが子どもに信頼されることが大事。
- わからないことをわからないと言えるような場にしたい。
- 子どもの個性に合わせてあきらめずに寄り添い続けたい。
- 支援の必要性を再確認することができた。
- ボランティア仲間と思いをシェアできてよかった。

日本語ボランティア フォローアップ研修会



【講師】

川口世津子さん
(ハンナの会)

梅澤理香さん
(つづき日本語サークル)

3月7日、区内の日本語教室で日本語ボランティアとして一步を踏み出した方々が、『学習者に合ったテキストの選び方や使い方』やグループワークを通して、『具体的な授業の進め方』を学びました。また、活動する中で生じた疑問を聞くこともでき、良い学びの機会となりました。

参加者の感想

- テキストの特徴を知り、学習者のニーズに合わせて教えるコツがわかった。
- アイスブレイクのきっかけの会話もとても参考になった。
- 例文を多く示すことが有効であることがわかった。
- 他グループの方と交流でき、貴重な機会になった。

つづきMYプラザ(都筑多文化・青少年交流プラザ)

開館時間 平日：午前10時～午後9時
土日祝：午前10時～午後6時
休館日 第3月曜日(祝日の場合火曜日)、年末年始
アクセス 市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン「センター北」駅下車 徒歩3分
ノースポート・モール5階



認定特定非営利活動法人 つづき区民交流協会
<https://www.tsuzuki-koryu.org>

編集後記

「卒業」ということばは、未来を感じさせることばでもあります。ひと時満開の桜を楽しんだ後は、新年度に向けて心をリセット。プラザにも二人の新人スタッフが加わり、新たなチームで皆さまのお越しをお待ちしています。(K.M&S.K)

